

表現と文化

司会：土屋忍

作：K,K

覗いてみれば、
世界はおもしろい



概要



絵画・映画・小説という異なる分野で活躍する3名の講師から、世界の覗き方を学ぶ。



武蔵野大学放送研究部

14万

高評価数

13,270,952

視聴回数

プロフィール

1:土農 力 RIKI SHINO

1966年金沢市生まれ、

2017年まで中町力の雅号で活動。金沢美術工芸大学在学中に日展初入選し、大学院修了後、池田遙邨の画塾「青塔社」で京都画壇にまなぶ。

日展特選、日展審査員、2011年に日展会員賞。

ニューヨークや欧州、香港など世界の建築を日本画で描く。

飛鳥新社より『旅する日本画 土農力作品集』発刊。

『令和の東京百景』シリーズでは現場スケッチ100枚を達成し永井画廊で発表。

日本外国特派員協会にて『絵になる東京』講演。日展会員。金沢学院大学教授。

2:小谷忠典(こたに ただすけ)

大阪府出身。ビジュアルアーツ専門学校・大阪を卒業後、

フィクションやドキュメンタリーの境界にとらわれない意欲的な作品を製作している。

マルセイユ、トリノ、トロント、ドバイ、プサン、プエノスアイレスなど、

これまで30カ国以上の国際映画祭に作品が選出。

主な作品に『ドキュメンタリー映画 100万回生きたねこ』(釜山国際映画祭 AND賞受賞)、

『フリーダ・カーロの遺品 石内都、織るように』、

『たまらん坂』(セント・アンドルーズ映画祭 最優秀撮影賞受賞)などがある。

3:楊逸(ヤン・イー)

中国はハルビン生まれ。87年留学生として来日。95年お茶の水女子大学卒業。

2008年『時が滲む朝』で、日本語版を母語としない作家で初めて芥川賞受賞。

主な作品に『ワンちゃん』、『金魚生活』、『すき・やき』、『流転の魔女』などがある。

開催日時

2022/11/11 (金)

10:00~12:00

会場

武蔵野大学

武蔵野キャンパス

1号館1202教室